

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



学校だより

11月号

横浜市立谷本小学校
令和5年10月31日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



「つないだ思い」

副校長 松井 康仁

夏休み明けにあれほど暑かった気候も落ち着き、すがすがしい秋風が校舎の間を吹き抜けていくのを感じます。谷本の森の木々も幾分か色付き始め、秋の訪れを感じる季節になりました。

先日の10月21日土曜日に、「150周年記念 運動会」を開催することができました。今年は記念すべき150周年記念の運動会として、「150(いこう)みんなで希望のバトンをつないで」というスローガンを掲げ、各学年の演技や競技、リレーだけでなく、力強い応援団の応援、音楽隊の息のそろったマーチング演奏や特別全校競技の大玉送りなどさらなる盛り上がりを見せた運動会になりました。

運動会当日の一生懸命な演技や競技の裏には、本番に向けて取り組んできた各学年の頑張りがありました。本番が迫ったある日の6年生「ソーラン節」練習のことでした。担任の先生が「構え」の掛け声を行う代表が決まったことを全員に告げると、誰に何を言われることなく自然と子どもたちから拍手が沸き上がりました。友達のよいところを認め、自分たちのことのように受け入れる姿はまさに「ともにいきよう」という学校目標にある姿そのものでした。また、演技指導を受ける場面では、朝礼台に立つ先生の前にぐっと全員が集まり、真剣に話を聞いていました。見ている私にも、6年生一人一人の士気が高まり、お互いが共鳴し合いながら、全体の意識が一つになっていくのを感じました。一生懸命演技をする6年生の真剣さ、学年全体で一丸となって取り組む姿は、きっとこれまで卒業していった先輩の思いを受け継ぎ、伝えていこうとする6年生の思いの表れだったのではないかと思います。

このように練習を積み重ねて成長していく姿はどの学年にも見られました。一人一人が成長という形でつないだ希望のバトンは次の学年へ引き継がれていくことでしょう。

運動会をの開催するにあたり、ご来賓の皆様をはじめ、保護者や地域の皆様にご協力、ご来校いただき心より感謝申し上げます。また、PTA 委員・係の方、たぬきクラブの皆様にもお力添えをいただきありがとうございました。皆様の応援のおかげで、子どもたちは演技や競技、応援に練習の成果を十分に発揮することができました。

来月の11月25日土曜日は、いよいよ150周年記念式典が執り行われます。これまで実行委員の皆様を中心に、150周年を祝う様々な企画を立案、実行していただいています。式典当日は多くのご来賓の方々をお招きする予定です。節目にふさわしい式典となるよう、また子どもたちにとって思い出にのこるよう努めてまいります。改めてご皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

